

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用児の特性や活動内容等を工夫し、スペースを有効に活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用児の特性や相性等に配慮して部屋割りを行い、突発的な状況にも適切に対応できるように職員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差をなくし、手すりを付けている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員会議にて活動プログラムやケースなどについて検討し振り返りを行っている。また検討した事項をもとに再度目標設定を行い、実務改善を図っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者・事業所アンケートを実施し、結果をもとに業務改善やサービスの質の向上につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価の結果は事業所玄関で閲覧できるとともにホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は行っていないが今後、必要に応じ検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人研修、施設内研修を行っている。また、外部研修にも積極的に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談、電話相談において十分なアセスメントを行った上で適切な計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案を全体で行っているか	○			担当者を中心に作成された原案を全体で検討し、実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			令和2年度はコロナ禍ということもあり、調理活動や屋外活動の一部を自粛した。それに代わる活動や季節感のある活動をプログラムに取り入れ、固定化しないように工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用時間に応じて課題を決め、集団活動・宿題・個別課題・余暇活動等それぞれの子どもに合わせた支援を行っている。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの特性や様子から個別活動、小集団での活動等を組み合わせ計画を作成している。	

適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前に必ずミーティングを行い、支援の内容、留意点や役割分担等を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後に必ずミーティングを行い、今後の支援につなげることが出来るように情報の共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録の書き方について研修を行い、適切に記録を残すようにしている。また、職員会議にて支援方法を検証し、日々の支援改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個別支援計画見直し時や6か月ごとのモニタリングをもとにサービス計画の見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドライン総則等をもとに、活動プログラムを計画、実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者とその子どもの状況に精通した職員が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校バス降車時に担当職員と口頭にて情報共有を行っている。連絡調整はFAX・メール・電話等で適切に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在医療的ケアが必要な子どものニーズはないが、利用児が定期的に通院しているような場合、適宜保護者から情報を得ている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			関係機関と連絡を取り合い、情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			障害福祉サービス事業所にアセスメントシートや個別支援計画、支援の内容等の情報提供を行い、会議にも積極的に参加している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			専門機関との会議等で相談をした時に助言を受けたり、研修に参加したりしている。
	26	地域との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	令和2年度はコロナ禍のため、人との接触機会は自粛した。

関係機関や保護者との連携	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			定期的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡ノートを使って日々の様子を伝えている。また、必要に応じて電話やメール等で共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての具体的な支援方法について情報の提供及び助言等を行っているか	○			事業所で取り組み、効果を感じることができた支援方法については保護者に伝達を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に詳しく説明を行い、その後は必要に応じて説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や連絡ノートを使い、また電話での相談に対し、助言・支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		当事業所では父母の会は発足されていない。保護者同士の連携において積極的な支援はしていないが、必要に応じて個別に対応を行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			要望の時点で速やかに対応を行っているため、現在まで苦情に至っていない。苦情があった場合には適切に対応できる体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人で発行している広報誌があり、ホームページで公開している。また、毎月の利用申込用紙や長期休暇前にお便りを発行し、活動や行事予定等の情報を記載している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			保護者に個人情報取り扱いの承諾書を記入していただくとともに、データ管理は細心の注意を払っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言葉での理解が難しい子どもに対しては、絵や写真を用いて視覚的に分かりやすく提示している。保護者に対しては連絡ノートやメールまたは電話で意思疎通や伝達を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			AED 設置を地域に向け公開している。また、法人行事である運動会や夏祭り等のポスターを例年は掲示し開催を公示している。(R2 年度は自粛)

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、事故発生時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを策定している。保護者には利用開始前の契約時に説明書にもとづいて説明を行うとともに、要望に応じて閲覧できるようにしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難場所の確認やマニュアルの作成等を行い、計画的に避難訓練を実施している。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			行政機関等の研修を受け、事業所で勉強会を開催し職員全体に周知している。また、虐待に関する職員アンケートを実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現時点では身体拘束を行わなければならない利用児がない為、保護者への説明やデイサービス計画への記載等は行っていない。必要に応じて適切に対応していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づき十分な配慮を行っているか	○			現在は対象となる子どもはいない。今後必要に応じて適切に対応していく。
	43	やむを得ずケガや事故が起きた際はその都度ヒヤリハット報告書を作成し、職員間での情報共有を行っているか	○			ヒヤリハット集を作成している。その都度、会議等で報告し、また職員全員が必ず確認するように周知している。